

# 「Well-being（幸せ）を保障する教育」の実現を目指して

## 学びの道しるべ

### ～「令和7年度さいたま市学習状況調査」の結果より～

「令和7年度さいたま市学習状況調査」の結果について、お知らせします。御家庭等において、子どもたちの日々の生活や学習の状況を振り返り、よりよい生活や学習の習慣について話し合う際に、「学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）」と併せて、本リーフレットをお役立てください。

#### 児童生徒・保護者向けリーフレット（小学校版）



全国学力・  
学習状況  
調査について

国立教育政策研究所ホームページ



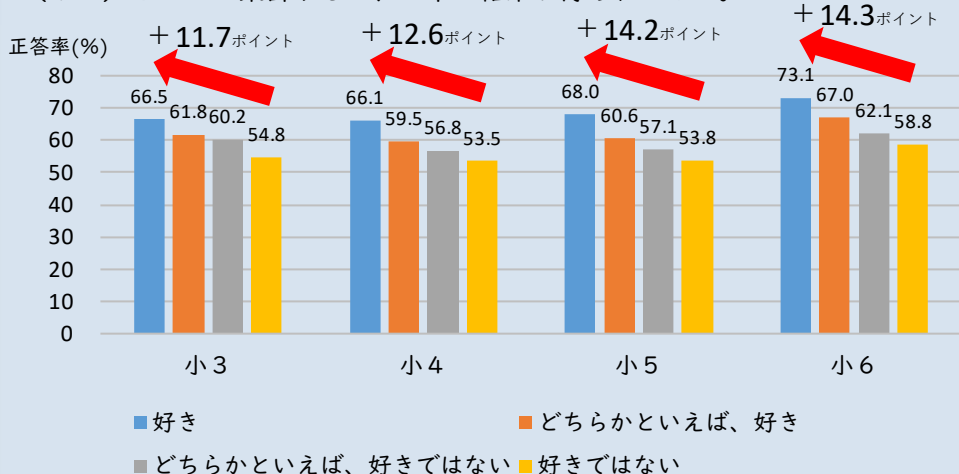
さいたま市  
学習状況  
調査について

さいたま市立教育研究所ホームページ

### 「生活習慣等に関する調査」の結果より

#### 【読書が好き】 × 【正答率】

質問調査「読書は好きですか」の回答状況と、「学力に関する調査」の正答率（※1）をクロス集計すると、以下の結果が得られました。



※1 小3・小4は2教科、  
小5・小6は4教科の平均正答率

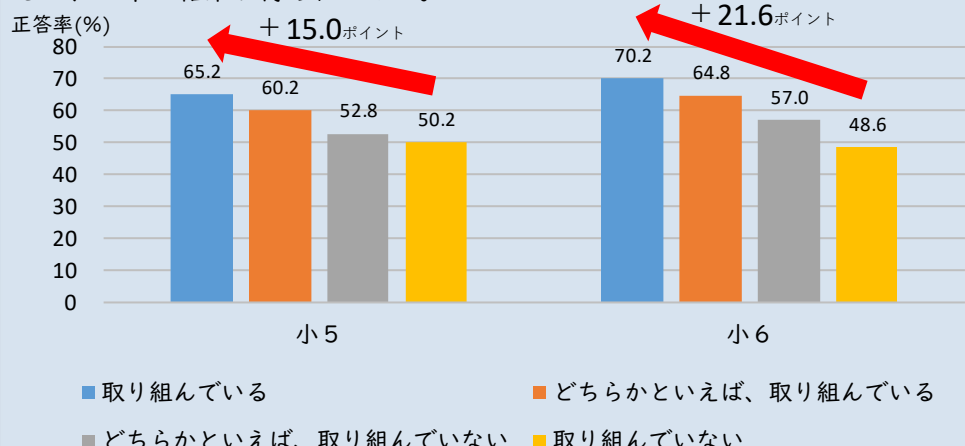
【参考】本質問と各教科の正答率との相関係数（※2）（抜粋）  
・小5理科：0.249 ・小6社会：0.267



質問調査の結果と「学力に関する調査」の結果（正答率）には、どのような関係がみられるのでしょうか。

#### 【課題の解決に向けて自分から取り組んでいる】 × 【正答率】

質問調査「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか」の回答状況と、「学力に関する調査」の正答率（※3）をクロス集計すると、以下の結果が得られました。



※3 4教科の平均正答率

【参考】本質問と各教科の正答率との相関係数（※2）（抜粋）  
・小5理科：0.150 ・小6社会：0.190

**読書が好きなお子ほど、  
正答率が高い傾向がみられる！**

**課題の解決に向けて自分から取り組んでい  
るお子は、正答率が高い傾向がみられる！**

さいたま市学習状況調査では、「知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力」などを問う問題を出題しています。今年度の「学力に関する調査」で実際に出題された問題を見てみましょう。

※2 相関係数は、2種類のデータの関連性の強弱を表す数値です。正の相関が強ければ相関係数は1に近づき、負の相関が強ければ-1に近づきます。正の相関があるとき、一方の値が増加すると、もう一方の値も増加する傾向があります。



裏面へ

# 「学力に関する調査」 調査問題の例

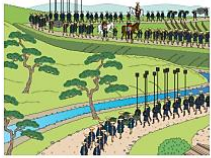


各教科の学習では、どのような力を身に付けていくことが重要なのでしょうか。今年度の調査問題を例に考えてみましょう。

## 令和7年度 小学校6年【社会】大問7（抜粋）

7 こうたさんのクラスでは歴史新聞をつくらうとしています。どんな人々が中心となって政治を動かしたかを時代ごとに分けて取り上げるようになりました。

(3) かずきさんは、江戸幕府が政治を行ったころ、武士による政治が安定したことについて記事にしようと考え、次の資料3～資料5から考えたことを資料6にまとめました。



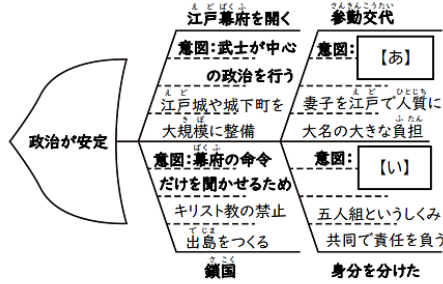
資料3 大名行列のようす



資料4 農民が年貢を納めるようす



資料5 長崎の出島



資料6 かずきさんがまとめた図

資料6の【あ】と【い】に当てはまる言葉の組み合わせとして最もふさわしいものを、次の1～4の中から一つ選びましょう。

- 【あ】 大名に反乱を起こさせない  
【い】 農民に年貢を確実に納めさせる
- 【あ】 大名に反乱を起こさせない  
【い】 農民が身分を選び、働けるようにした
- 【あ】 大名に江戸のくらしのよさを伝える  
【い】 農民に年貢を確実に納めさせる
- 【あ】 大名に江戸のくらしのよさを伝える  
【い】 農民が身分を選び、働けるようにした

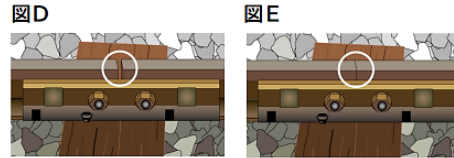
なぜ江戸幕府は参勤交代の制度を定めたり、身分を区別して人々を支配したりしたのかな？

資料6のような魚の骨の形をした思考ツールを、「フィッシュ・ボーン図」といいます。頭の部分にテーマを書き、骨の部分にその理由や根拠を複数の視点から書いて整理していきます。本問題のかずきさんのように、ある出来事について考察する際は、複数の視点から見るのが大切です。

## 令和7年度 小学校5年【理科】大問1（抜粋）

1 かおりさんとしんやさんは、空気や水や金属の温度による変化やあたたまり方について調べています。

(4) かおりさんとしんやさんは、次の図Dと図Eの2つの画像について話しています。



冬のレールは冷えてちぢむけど、夏のレールは熱くなつてのびるからだよ。

空気や水と同じように、金属も熱せられると  が大きくなり、冷やされると  が小さくなるんだってね。



図Dと図Eは金属でつくられている鉄道のレールで、場所は同じだけど、図Dは冬の日の正午に、図Eは夏の日の正午にさつえいしたものだよ。



よく見ると、冬のレール(図D)はすきまがあるけど、夏のレール(図E)はすきまがないね。



熱せられたり冷やされたりすると、金属はどのように変化するのかな？

本問題のかおりさんとしんやさんは、鉄道のレールに着目し、「冬はレールの間にすきまがあるのに、夏はすきまがないのはなぜだろう」という問いを立てて、対話をしながら考えています。このように、授業で学んだことを日常生活と関連付けて考察することが大切です。

L-Gateには、振り返りに活用できる「おかわRe(り):チャレンジ」(復習用類似問題)が配信されているよ。早速取り組んでみよう！



教科書 【理科】  
1 【5年】  
50